

令和8年度 小野小学校 経営方針

文責 奥田 巖文

1 元気になる学校

- ・ コロナ禍を経て実感された学校の存在意義 → 参集することの価値
- ・ ドラッカー「マネジメント」 → 自己実現と社会貢献
組織とは人間の集合体であり、敬意無くして成果は生まれない
- ・ 福沢諭吉「学問のすすめ」 → 学問の前に人は平等、学問=人権教育
- ・ グランドデザイン、小野小の教育目標の変更
- ・ 教育活動のふり返りの観点に活用

2 小野のリソース

- ・ 西日本最大級の茶畑と茶育
- ・ 小野湖(カヌー体験・アクティビリティ)
- ・ 小野和紙(紙漉き 卒業証書 コサージュ)
- ・ 小野小児童を心から大切にしている地域の方
- ・ 子どもの成長を共に願う保護者(特認校制度も含む)
- ・ 本年度の小野小教職員
- ・ 小野小の伝統が育ててきた児童
- ・ 小野小スタイル(見守り支援型複式授業による、教員の技量と児童の主体性の向上)

3 教育力の向上

憲法・法令・条例に基づいた言動(綱紀保持・学習指導・生徒指導・校務分掌)

人材育成指標を生かした自己目標シート

授業力の向上

宇部市学校教育推進のための方針

4 Well-beingのためのR8年度業務改善

- ・ 通知表3期制から2期制
- ・ 梅林の作業、運動会前の作業を外注
- ・ 余剰時数の削減
- ・ 学び直しの時間、引き受け(7年部)
- ・ 積極的な授業サポート(校長)

5 評価と改善

- ・ 年2回の学校評価アンケート
- ・ 年度末の学校運営協議会委員と行う学校評価
- ・ 各学期の反省